

志木小学校だより

令和元年度6月号



学校地域教育目標

明るくあいさつのできる子

思いやりのある子

地域を大切にする子

意欲的に学ぶ子

6/1児童数 750名

ニコニコ笑顔 キビキビ行動 ハキハキあいさつ・返事 あいさつをするのはなぜ？

校長 坂口 栄二



校庭のやまぼうし

1学期も折り返し！

新しい学年になり、もう2か月が過ぎました。1学期も折り返しです。6月は体調管理がとても難しい月でもあります。体調を万全に整えて、学習に運動にしっかり取り組んでほしいと思います。ご家庭のご協力をお願いいたします。

あいさつは人と人との懸け橋！

学校でも職場でも家庭でも、「あいさつをなさい」と言われます。なぜあいさつは大事なのでしょう。その理由は「**あいさつはコミュニケーションのはじめの一步**」だからです。人は社会生活を営んでいます。あいさつがしっかりできれば、**学校や会社での人間関係をよくすることができ、豊かな生活を送ることが**できます。逆にあいさつができなければコミュニケーションが取れないと思われ、社会からの評価も得られません。

あいさつは万国共通のルール！

世界の様々な国に行くとき、まずその国のあいさつを覚えます。なぜでしょうか。相手に話しかけるとき、まず**あいさつをすることで親愛の情を最初に伝え、それからこちらの思いを伝えます**。そうすることで意思の疎通を図ります。**あいさつはコミュニケーションのツール**なのです。将来、世界に羽ばたいていく子供たちにはしっかりしたあいさつができるようになってほしいと思います。



世界のあいさつは様々？

世界には様々なあいさつがあります。グータッチはもともとはジャマイカのあいさつです。ヨーロッパ系の人のあいさつは、お互いのほっぺたをくっつけて抱き合います。インドやネパールなどでは両手を合わせてあいさつします。日本はお辞儀があいさつです。

世界には様々なあいさつがありますが、**共通していることがあります**。それは、どのあいさつも「**親愛**」「**尊敬**」「**感謝**」などの**気持ちがこもっている**ことです。

あいさつで心がけることは？

では、あいさつで心がけなければならないことは何でしょう。

まず、**相手にあいさつしていることが伝わらなければいけません**。そのために「はっきりとした声であいさつする」「相手の目を見てあいさつする」「ハイタッチなどのあいさつをする」などたくさんの方が考えられます。**相手に伝わるあいさつが大事**です。

次に、**笑顔であいさつすることも大事**です。笑顔であいさつできる人の周りには笑顔の人が集まってきます。口角を上げ、笑顔であいさつしたいものです。

子供達には、**場に合った自分なりの気持ちのよいあいさつ**ができるようになってほしいと思います。そのためには、**たくさんの機会にあいさつの経験をしてほしい**です。何度も繰り返しあいさつしていれば、**自然にあいさつができるよう**になります。「**ハキハキあいさつ・返事**」を心がけ、**続けることでコミュニケーションの上手な人**になってほしいと思います。あいさついっぱい環境を作りましょう。